

産業と経済

20 常住地又は従業地・通学地による利用交通手段

資料：平成22年国勢調査
平成22年10月1日現在

(単位：人)

区分	常住地による15歳以上 自宅外就業者・通学者数					従業地・通学地による15歳以上 自宅外就業者・通学者数		
	総数	北秋田市で 従業・通学	他市町村で 従業・通学	県内他市町村で 従業・通学	他県で 従業・通学	総数	うち県内他市 町村に常住	うち他県 に常住
総数(利用交通手段)	14,725	12,027	2,698	2,575	71	14,409	2,294	36
利用交通手段が1種類	14,191	11,758	2,433	2,330	64	13,972	2,143	32
徒歩だけ	1,040	1,029	11	3	2	1,038	3	-
鉄道・電車	328	152	176	161	15	224	70	2
乗合バス	93	87	6	4	2	103	16	-
勤め先・学校のバス	123	111	12	7	2	121	6	1
自家用車	11,610	9,401	2,209	2,141	40	11,489	2,035	25
ハイヤー・タクシー	6	5	1	1	-	5	-	-
オートバイ	23	23	-	-	-	23	-	-
自転車	685	879	6	3	1	883	2	-
その他	83	71	12	10	2	86	11	4
利用交通手段が2種類	386	224	162	153	6	339	109	3
鉄道・電車及び乗合バス	40	7	33	33	-	19	11	1
鉄道・電車及び勤め先・学校のバス	-	-	-	-	-	1	1	-
鉄道・電車及び自家用車	98	48	50	47	2	87	38	-
鉄道・電車及びオートバイ	1	1	-	-	-	1	-	-
鉄道・電車及び自転車	118	44	74	69	4	80	35	-
その他利用交通手段が2種類	129	124	5	4	-	151	24	2
利用交通手段が3種類以上	107	20	87	87	-	45	25	-
不詳	41	25	16	5	1	53	17	1

21 国籍・男女別 外国人数

資料：国勢調査
各年10月1日現在

注) 平成12年は旧
4町の合計。

(単位：人)

区分	総数	国籍・朝鮮				
		韓国・朝鮮	フィリピン	タイ	その他	
平成12年	総数	123	21	63	4	8
	男性	26	11	1	2	4
17	総数	159	15	53	4	11
	男性	20	6	-	2	4
22	総数	157	13	54	4	11
	男性	18	6	1	2	9
	女性	139	7	53	2	2

区分/年度	平成2年	7	12	17	22
総数(戸)	5,042	4,376	3,127	2,421	1,882
専業(戸)	475	442	404	415	462
第一種兼業(戸)	639	686	435	333	265
第二種兼業(戸)	3,928	3,248	2,288	1,673	1,155
農業就業人口(人)	5,177	4,590	4,230	3,604	2,962

1 農家数と 従事者数 の推移

資料：農林業センサス
各年2月1日現在
※販売農家のみ

(単位：戸)

新旧区分	計	専業農家		兼業農家			
		男子生産 年齢人口 がいる	女子生産 年齢人口 がいる	小計	第1種 兼業農 家	第2種 兼業農 家	
北秋田市	1,882	462	128	131	1,420	265	1,155
旧鷹巣町	872	197	56	59	675	142	533
鷹巣町	50	10	2	3	40	4	36
栄村	90	20	4	6	70	19	51
坊沢村	100	31	6	10	69	24	45
七座村	80	20	3	3	60	9	51
沢口村	182	36	14	12	146	27	119
七日市村	165	31	14	9	134	21	113
綴子村	205	49	13	16	156	38	118
旧合川町	434	112	40	34	322	71	251
落合村	46	9	1	1	37	5	32
上大野村	153	37	16	13	116	35	81
下大野村	121	22	10	7	99	8	91
下小阿仁村	114	44	13	13	70	23	47
旧森吉町	350	76	20	24	274	43	231
前田村	158	32	7	7	126	13	113
米内沢町	192	44	13	17	148	30	118
旧阿仁町	226	77	12	14	149	9	140
阿仁合町	91	32	6	5	59	3	56
大阿仁村	135	45	6	9	90	6	84

2 専業・兼業別 農家数 ～販売農家～

資料：2010年農林業センサス
平成22年2月1日現在

販売農家：経営耕地が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家
専業農家：世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家
兼業農家：世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家
第1種兼業農家：農業所得を主とする兼業農家
第2種兼業農家：農業所得を従とする兼業農家
生産年齢人口：15～64歳

(単位：ha)

年/区分	計	田	畑	樹園地
平成2年	6,306	5,404	838	64
7	5,896	5,087	756	53
12	5,597	4,882	683	32
17	5,234	4,487	722	25
22	4,751	4,237	492	22

3 経営耕地 面積の推移

資料：農林業センサス
各年2月1日現在

8 米の作付け面積と収穫量

資料：農林課

年度	作付面積(ha)	10a当りの収穫量(kg)	収穫量(t)	作況指数
平成10年	3,799	541	20,560	100
11	3,762	553	20,800	101
12	3,766	565	21,280	102
13	3,620	560	20,260	102
14	3,650	553	20,170	97
15	3,650	553	20,170	97
16	3,658	516	18,880	94
17	3,595	555	19,870	102
18	3,590	545	19,565	100
19	3,456	519	17,937	98
20	3,462	570	19,733	103
21	3,452	541	18,675	98
22	3,610	518	18,700	94
23	3,450	533	18,400	99

9 農地の転用状況

資料：農業委員会

各年度4月1日～3月31日

(単位：面積…a)

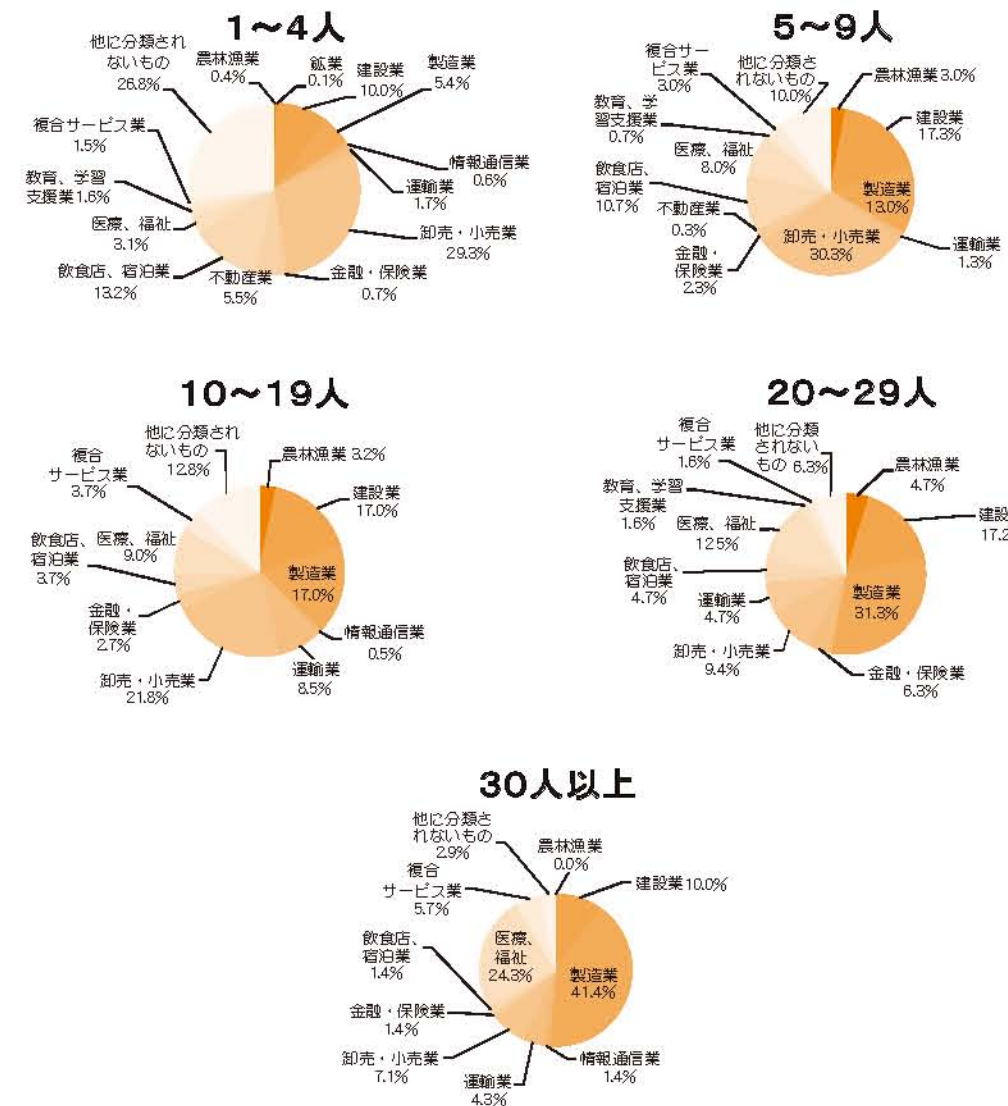
年度	総数	住宅用地	工業用地	公園・運動広場用地	道・水路用地	他建設施設用地	植林	その他
平成17年	29	13	2	-	1	5	1	7
18	32	24	1	1	-	2	-	4
19	21	12	-	-	2	-	3	4
20	32	11	-	-	-	11	1	9
21	45	12	-	-	-	11	1	21
22	32	8	-	-	1	3	4	16
23	41	13	-	-	1	7	2	18

10 従業者規模別産業別構成比

資料：事業所・企業統計調査
平成18年7月1日現在
(平成18年度)

単位：%

区分	従業者数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30人以上
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
農林漁業		0.4	3.0	3.2	4.7	0.0
鉱業		0.1	-	-	-	-
建設業		10.0	17.3	17.0	17.2	10.0
製造業		5.4	13.0	17.0	31.3	41.4
電気・ガス・熱供給・水道業		-	-	-	-	-
情報通信業		0.6	-	0.5	-	1.4
運輸業		1.7	1.3	8.5	4.7	4.3
卸売・小売業		29.3	30.3	21.8	9.4	7.1
金融・保険業		0.7	2.3	2.7	6.3	1.4
不動産業		5.5	0.3	-	-	-
飲食店、宿泊業		13.2	10.7	3.7	4.7	1.4
医療、福祉		3.1	8.0	9.0	12.5	24.3
教育、学習支援業		1.6	0.7	-	1.6	-
複合サービス業		1.5	3.0	3.7	1.6	5.7
他に分類されないもの		26.8	10.0	12.8	6.3	2.9



11 商業の状況
(飲食店を除く)

資料：
商業統計調査
H14、H16年
調査は旧4町の合
計による。
一部秘匿措置有り。

(単位：店・人・百万円)

年	平成14年	16	19
事業所数	608	577	534
従業者数	2,542	2,422	2,420
年間商品販売額	40,777	43,004	40,222
うち卸売業	55	61	57
従業者数	320	308	267
年間商品販売額	9,269	9,206	7,085
うち小売業	553	516	477
従業者数	2,222	2,114	2,153
年間商品販売額	29,552	33,798	33,137

12 産業中分類別
事業所数・
従業者数・
製造品出荷額
等の推移
(従業者4人以上)

資料：平成19年
商業統計調査
平成19年6月1日
現在

区分	商店数 (店)	売場面積 (㎡)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
総数	534	36,450	2,420	39,581
卸売業計	57	0	267	6,445
各種商品卸売業	1	-	7	X
繊維・衣服等卸売業	3	-	12	299
飲食料品卸売業	20	-	92	3,357
建築材料、鉱物・金属材料等卸	16	-	96	2,292
機械器具卸売業	6	-	21	497
その他の卸売業	11	-	39	X
小売業計	477	36,450	2,153	33,136
各種商品小売業	-	-	-	-
織物・衣服・身の回り品小売業	52	6,215	159	1,564
飲食料品小売業	196	16,133	965	14,432
自動車・自転車小売業	21	980	93	1,451
家具・じゅう器・機械器具小売	48	4,174	127	1,258
その他の小売業	160	8,948	809	14,431

[X] 統計法による秘匿

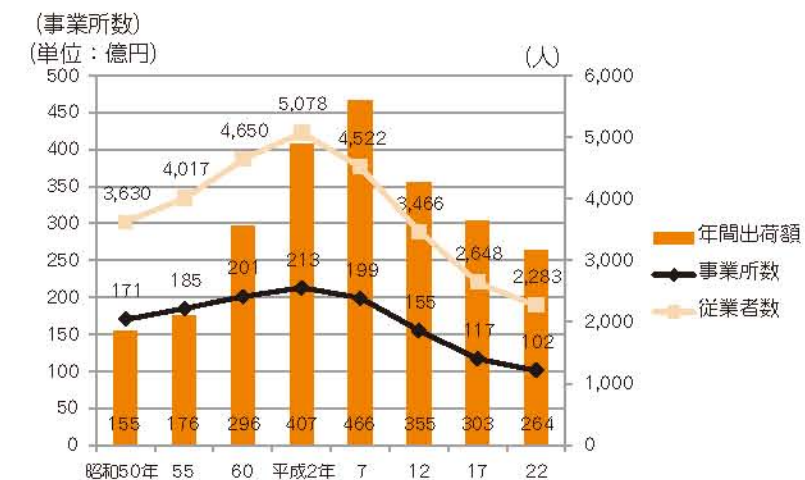
産業中分類別
事業所数・
従業者数・
製造品出荷額
等の推移
(従業者4人以上)

資料：
工業統計調査
各年12月31日現在

区分	平成17年				平成18年				平成19年			
	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 実績(百万円)	構成比(%)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 実績(百万円)	構成比(%)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 実績(百万円)	構成比(%)
合計	117	2,648	3,026,827	100.0	118	2,719	3,065,596	100.0	110	2,601	3,167,811	100.0
食料品製造業	13	138	1,114,888	3.7	12	150	1,113,118	3.7	10	141	1,322,506	4.2
繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)			0.0		1	6	X	X	1	6	X	X
衣服・その他の繊維製品製造業	32	772	285,329	9.4	34	790	283,499	9.6	29	694	241,091	7.6
木材・木製品製造業(家具を除く)	19	351	708,629	23.4	18	325	726,765	23.7	17	315	743,199	23.5
家具・装飾品製造業	2	13	X	X	1	7	X	X	2	11	X	X
パルプ・紙加工品製造業			0.0		1	7	X	X	1	7	X	X
印刷・同関連業	3	22	18,367	0.6	2	18	X	X	2	16	X	X
プラスチック製品製造業(樹脂を除く)			0.0		1	27	X	X	1	29	X	X
ゴム製品製造業	4	114	54,172	1.8	4	149	53,582	1.7	5	147	60,779	1.9
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	6	X	X	2	10	X	X	2	10	X	X
窯業・土石製品製造業	8	119	234,209	7.7	7	114	236,961	7.7	7	115	248,064	7.8
鉄鋼業	2	158	X	X	3	183	588,016	19.2	3	203	628,572	19.8
非鉄金属製造業	1	20	X	X	1	20	X	X	2	48	X	X
金属製品製造業	8	107	130,798	4.3	8	109	125,731	4.1	8	112	125,920	4.0
一般機械器具製造業	6	125	161,152	5.3	6	109	183,031	6.0	6	118	190,429	6.0
電気機械器具製造業	1	10	X	X	1	9	X	X	1	9	X	X
情報通信機械器具製造業	2	68	X	X	2	63	X	X	1	35	X	X
電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	254	286,107	9.5	5	260	268,004	8.7	5	260	264,313	8.3
輸送用機械器具製造業	4	186	211,962	7.0	3	177	196,036	6.4	3	178	199,471	6.3
精密機械器具製造業	2	58	X	X	2	56	X	X	1	29	X	X
その他の製造業	4	127	89,089		4	130	85,478		3	118	149,189	4.7

区分	平成20年				平成21年				平成22年			
	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 実績(百万円)	構成比(%)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 実績(百万円)	構成比(%)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 実績(百万円)	構成比(%)
合計	112	2,498	2,990,764	100.0	102	2,240	2,175,982	100.0	102	2,283	2,638,491	100.0
食料品製造業	12	187	138,534	4.6	9	132	108,719	5.0	10	143	134,010	5.1
繊維工業	34	711	274,176	9.2	30	593	194,090	8.9	30	587	196,509	7.5
木材・木製品製造業(家具を除く)	14	234	541,888	18.1	14	222	478,697	22.0	14	227	512,716	19.4
家具・装飾品製造業	1	6	X	X	1	6	X	X	-	-	-	-
パルプ・紙加工品製造業	1	6	X	X	1	6	X	X	1	8	X	X
印刷・同関連業	2	16	X	X	2	16	X	X	3	20	14,730	0.6
ゴム製品製造業	6	90	67,501	2.3	5	89	38,508	1.8	6	98	56,943	2.2
なめし革・同製品・毛皮製造業	3	15	2,182	0.1	3	13	1,811	0.1	1	4	X	X
窯業・土石製品製造業	7	113	252,710	8.4	6	101	195,226	9.0	6	106	251,056	9.5
鉄鋼業	2	169	X	X	2	161	X	X	2	175	X	X
非鉄金属製造業	2	52	X	X	2	57	X	X	2	51	X	X
金属製品製造業	8	126	128,635	4.3	6	111	91,389	4.2	6	120	122,234	4.6
はん用機械器具製造業	1	34	X	X	1	34	X	X	1	33	X	X
生産用機械器具製造業	4	74	90,124	3.0	6	86	81,067	3.7	6	83	98,025	3.7
電子部品・デバイス・電子回路製造業	6	263	288,817	9.7	5	242	193,694	8.9	6	269	242,157	9.2
電気機械器具製造業	1	27	X	X	1	27	X	X	1	27	X	X
情報通信機械器具製造業	1	33	X	X	1	30	X	X	-	-	-	-
輸送用機械器具製造業	3	164	181,952	6.1	3	137	97,976	4.5	3	151	167,217	6.3
その他の製造業	4	178	223,430	7.5	4	177	184,865	8.5	4	181	194,006	7.4

[X] 統計法による秘匿



製造業
事業所・
従業者数・
製造品出荷額
等の推移

資料：
工業統計調査
各年12月31日現在

行 財政

1 選挙人名簿登録者数の推移

資料：選挙管理委員会
各年9月2日現在

(単位：人)

年	登録者数		
	総数	男性	女性
平成17年	34,345	16,040	18,305
18	34,021	15,872	18,149
19	33,526	15,612	17,914
20	33,031	15,384	17,647
21	32,548	15,142	17,406
22	32,102	14,940	17,162
23	31,666	14,693	16,973
24	31,239	14,491	16,748

2 選挙執行状況

資料：選挙管理委員会

執行年月日	選挙名	当日の有権者数(人)			投票率(%)		
		男性	女性	計	男性	女性	計
平成17年4月17日	秋田県知事選挙	15,956	18,258	34,214	76.42	78.62	77.59
	北秋田市長選挙	15,941	18,244	34,185	76.26	78.54	77.48
平成17年9月11日	第44回衆議院議員総選挙	16,023	18,284	34,307	74.29	73.24	73.73
平成18年3月26日	北秋田市議会議員一般選挙	15,880	18,127	34,007	82.12	85.07	83.69
平成19年4月8日	秋田県議会議員選挙	15,547	17,886	33,433	78.60	80.00	79.35
平成19年7月29日	第21回参議院議員通常選挙	15,608	17,927	33,535	72.40	71.51	72.92
平成21年4月12日	秋田県知事選挙	15,070	17,330	32,400	81.18	82.24	81.75
	秋田県議会議員補欠選挙	15,064	17,326	32,390	81.11	82.12	81.65
	北秋田市長選挙	15,049	17,308	32,357	81.10	82.14	81.65
	北秋田市議会議員補欠選挙	15,049	17,308	32,357	81.05	82.05	81.58
平成21年8月30日	第45回衆議院議員総選挙(小選挙区)	15,118	17,383	32,501	77.62	75.92	76.71
平成22年3月28日	北秋田市議会議員一般選挙	14,749	17,050	31,799	79.65	81.13	80.44
平成22年7月11日	第22回参議院議員通常選挙(秋田県選出)	14,809	17,091	31,900	70.09	67.11	68.50
	第22回参議院議員通常選挙(比例代表選出)	14,809	17,091	31,900	70.04	67.06	68.45
平成23年4月10日	秋田県議会議員選挙	14,458	16,815	31,273	72.86	72.76	72.80
平成24年12月16日	第46回衆議院議員総選挙(小選挙区)	14,280	16,525	30,805	68.38	64.50	66.30

歳入 (単位：円・%)

区分 年度	総額		一般会計		特別会計	
	決算額	対前年比	決算額	対前年比	決算額	対前年比
平成17年	42,236,245,264	—	24,007,280,748	—	18,228,964,516	—
18	41,287,163,090	97.8	24,135,116,632	100.5	17,152,046,458	94.1
19	39,598,967,116	95.9	22,448,996,902	93.0	17,149,970,214	100.0
20	36,906,736,609	93.2	23,370,298,318	104.1	13,536,438,291	78.9
21	35,814,644,503	97.0	22,914,773,842	98.1	12,899,870,661	95.3
22	36,607,929,269	102.2	23,499,166,697	102.6	13,108,762,572	101.6
23	36,663,848,955	100.2	22,923,052,494	97.5	13,740,796,461	104.8

3 決算推移

資料：財政課
各年度4月1日～
3月31日

注) 水道事業会計、
病院事業会計を除
いています。

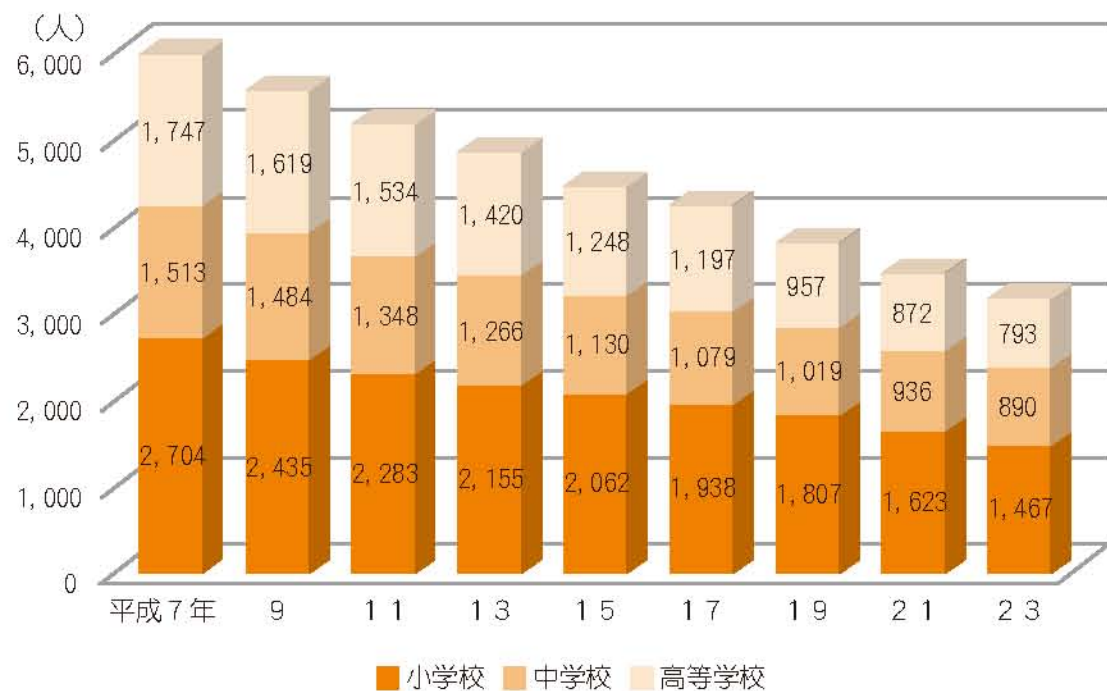
歳出

区分 年度	総額		一般会計		特別会計	
	決算額	対前年比	決算額	対前年比	決算額	対前年比
平成17年	41,116,537,159	—	23,470,944,599	—	17,645,592,560	—
18	40,381,229,094	98.2	23,711,205,281	101.0	16,670,023,813	94.5
19	38,727,953,503	95.9	21,999,289,100	92.8	16,728,664,403	100.4
20	35,532,718,972	91.7	23,036,468,715	104.7	12,496,250,257	74.7
21	34,185,008,721	96.2	22,454,759,810	97.5	11,730,248,911	93.9
22	35,238,670,929	103.1	23,127,392,865	103.0	12,111,278,064	103.2
23	35,008,131,363	99.3	22,194,863,982	96.0	12,813,267,381	105.8

教育と文化

1 生徒数の推移

資料：学校基本調査
各年度5月1日現在
注) 平成15年度以前は旧4町の合算による



2 教育施設

資料：学校基本調査
平成24年5月1日現在

幼稚園	市立	1園	園児数	9
	私立	1園	園児数	27
小学校	市立	14校	児童数	1,402
中学校	市立	5校	生徒数	872
高等学校	県立	1校	生徒数	766

3 小学校児童数の推移

資料：学校基本調査
各年度5月1日現在
注) 平成16年度以前は旧4町の合計

(単位：校、学級、人)

年度	学校数	学級数	児童数			教員数	1学級当りの児童数	教員一人当りの児童数	
			男	女	計			北秋田市	秋田県
平成15年	16	112	1,042	1,020	2,062	190	18.4	10.9	13.9
16	16	109	1,019	980	1,999	185	18.3	10.8	14.0
17	16	108	976	962	1,938	181	17.9	10.7	14.1
18	16	107	939	953	1,892	180	17.7	10.5	14.0
19	16	108	880	927	1,807	180	16.7	10.0	13.8
20	16	112	852	874	1,726	186	15.4	9.3	13.9
21	15	107	794	829	1,623	181	15.2	9.0	13.7
22	15	105	739	801	1,540	179	14.7	8.6	13.5
23	15	104	718	749	1,467	174	14.1	8.4	13.4
24	14	102	681	721	1,402	165	13.7	8.5	13.2

4 中学校生徒数の推移

資料：学校基本調査
各年度5月1日現在
注) 平成16年度以前は旧4町の合計

(単位：校、学級、人)

年度	学校数	学級数	生徒数			教員数	1学級当りの生徒数	教員一人当りの生徒数	
			男	女	計			北秋田市	秋田県
平成15年	5	42	602	528	1,130	99	26.9	11.4	13.1
16	5	41	556	519	1,075	97	26.2	11.1	12.9
17	5	41	558	521	1,079	92	26.3	11.7	13.0
18	5	40	542	513	1,055	93	26.4	11.3	12.8
19	5	37	524	495	1,019	86	27.5	11.8	12.9
20	5	35	496	464	960	80	27.4	12.0	12.6
21	5	38	470	466	936	88	24.6	10.6	12.5
22	5	37	463	427	890	87	24.1	10.2	12.0
23	5	37	448	437	885	86	23.9	10.3	11.9
24	5	36	439	433	872	86	24.2	10.1	11.8

5 高等学校生徒数の推移

資料：学校基本調査
各年度5月1日現在
注) 平成16年度以前は旧4町の合計

(単位：校、学級、人)

年度	学校数	生徒数			教員数	教員一人当りの生徒数		1校当りの生徒数
		男	女	計		北秋田市	秋田県	
平成15年	4	740	508	1,248	126	9.9	12.9	312
16	4	721	525	1,246	124	10.0	12.8	312
17	4	677	359	1,197	120	10.0	12.7	299
18	4	635	461	1,096	118	9.3	12.5	274
19	4	566	391	957	115	8.3	12.8	239
20	4	525	392	917	114	8.0	11.9	229
21	4	486	386	872	109	8.0	12.0	218
22	4	455	392	847	105	8.1	12.0	212
23	1	427	366	793	63	12.6	12.0	793
24	1	395	371	766	62	12.4	12.0	766

6 各小中学校
児童生徒数

資料：教育委員会
各年度5月1日現在

年度	小学校							
	鷹巣	鷹巣東	綴子	鷹巣中央	鷹巣南	鷹巣西	菟森	米内沢
平成17年	347	113	187	173	122	106	14	211
18	336	114	179	173	110	97	14	205
19	341	120	178	167	109	98	11	199
20	325	115	172	161	104	92	12	195
21	325	113	155	145	113	83	-	177
22	316	98	151	149	101	79	-	162
23	295	97	140	151	87	88	-	158

年度	中学校					
	鷹巣	鷹巣南	森吉	阿仁	合川	計
平成17年	443	174	182	91	189	1,079
18	436	157	185	96	181	1,055
19	404	149	190	91	185	1,019
20	361	147	191	81	180	960
21	345	154	183	81	173	936
22	342	145	178	71	154	890
23	343	142	166	74	160	885

年度	中央		鷹巣地区		合川地区	
	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数
平成17年	60,298	2,389	63,827	3,376	15,407	1,238
18	51,700	2,414	113,114	5,864	17,667	1,406
19	54,284	2,460	62,249	3,245	16,438	1,332
20	46,686	2,451	52,540	2,930	19,305	1,373
21	53,087	2,418	58,366	2,890	17,742	1,274
22	44,670	2,142	44,088	2,419	16,285	1,263
23	39,190	1,943	47,654	2,477	14,610	1,068

年度	体育館				スポーツ施設				野球場
	鷹巣	合川	森吉	阿仁	北健康増進センター	陸上競技場	米代川河川緑地野球場	米代川河川緑地ソフトボール場	中央公園
平成17年	53,660	15,548	17,009	2,064	6,050	13,795	2,410	665	345,530
18	51,116	17,289	18,533	5,156	7,447	19,932	2,907	972	31,390
19	49,206	24,240	24,584	4,336	6,870	18,353	1,391	1,065	33,340
20	48,368	19,659	16,969	5,231	6,638	10,885	40	-	26,620
21	43,184	19,821	17,481	3,551	6,618	14,723	1,344	1,230	29,220
22	538,351	27,347	15,784	3,192	5,867	15,048	1,962	3,004	36,237
23	48,795	33,882	17,906	2,330	6,483	23,035	1,655	431	31,922

7 公民館の
利用状況

資料：教育委員会
各年度4月1日～
3月31日

(単位：人)

小学校								
浦田	前田	阿仁合	大阿仁	合川東	合川西	合川南	合川北	計
28	127	106	58	123	66	62	95	1,938
29	127	96	58	116	57	54	97	1,892
33	104	89	46	121	50	45	96	1,807
27	93	87	47	113	43	43	97	1,726
29	84	80	39	103	43	36	98	1,623
25	81	69	36	106	42	30	95	1,540
27	67	61	30	99	41	33	93	1,467



森吉地区		阿仁地区		計	
利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数
33,049	2,333	9,327	719	181,908	10,055
32,221	2,154	12,741	767	227,443	12,605
34,844	2,195	12,196	722	180,011	9,954
30,497	2,001	10,561	1,532	159,589	10,287
27,057	1,690	11,473	795	167,725	18,134
22,937	1,726	10,734	805	138,714	5,355
22,064	1,506	8,083	681	131,601	7,675



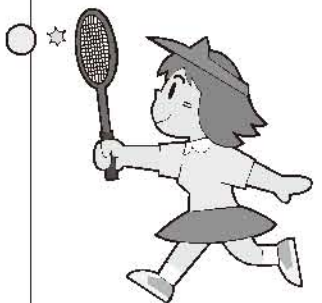
8 主要スポーツ
施設の利用状況

資料：教育委員会
各年度4月1日～
3月31日

(単位：人)

野球場		テニスコート			スキー場			プール	
森吉	合川	中央公園	米内沢	合川	薬師山	松森	湯口内	鷹巣※市民	合川
3,686	2,355	8,711	472	79	11,154	1,284	1,992	10,504	2,541
4,533	3,605	4,431	652	111	3,810	2,876	252	26,459	2,063
3,604	1,841	3,850	668	11	12,094	2,159	964	33,193	1,363
3,081	1,797	6,555	1,097	9	10,574	1,905	888	37,544	1,722
4,553	1,776	5,812	696	20	11,285	1,663	660	40,140	1,778
3,272	1,344	9,881	642	-	14,922	947	708	42,939	2,638
4,192	1,870	10,692	737	-	13,540	785	727	43,912	2,072

※鷹巣・市民プール欄は、平成20年度までは鷹巣プール、平成21年度からは市民プールの利用状況



9 市指定文化財

市指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
七日市長岐邸	有形文化財	建造物	1棟	H1.10.1	鷹巣
寿念寺山門	有形文化財	建造物	1棟	H4.3.31	阿仁
比立内発電所跡	有形文化財	建造物	1棟	H4.3.31	阿仁
掛軸「備荒米奨励の図」	有形文化財	絵画	2幅	H1.10.1	鷹巣
絹本着色涅槃図	有形文化財	絵画	1幅	S59.3.21	森吉
「長寿庵によせる和歌」	有形文化財	書跡	1巾	H8.6.24	合川
菅江真澄筆「四十二祝い」の書	有形文化財	書跡	1巾	H8.6.24	合川
般若院英泉孔雀明王経出版記念碑(等)	史跡	遺跡		S53.2.1	鷹巣
御札山制札	有形文化財	書跡	1枚	H1.10.1	鷹巣
長岐家御札山制札	有形文化財	書跡	1枚	H1.10.1	鷹巣
永年記	有形文化財	書跡	1冊	H1.10.1	鷹巣
鷹巣村御羊萬日記	有形文化財	書跡	1冊	H1.10.1	鷹巣
天保飢饉見聞実録	有形文化財	書跡	1冊	H1.10.1	鷹巣
木葉石硯	有形文化財	工芸	1個	S59.3.21	森吉
米内沢八橋焼大瓶	有形文化財	工芸	1個	S59.3.21	森吉
罌口	有形文化財	工芸	1個	S59.3.21	森吉
榊細工「胴乱」	有形文化財	工芸	1個	H12.9.6	合川
榊細工製作用具一式	有形文化財	工芸	15個	H12.9.6	合川

概要
長岐家は秋田藩主佐竹候選封以来、肝煎を世襲的に努めた家柄で、同家の「御渡野日誌」によると御本陣2回、御昼食1回を長岐邸にて行ったという記録が残っている。また、長岐邸は数少ない石置き杉皮葺民家としても貴重な文化財である。(IGA伝建研2005)
元禄6年(1693)、京都・知恩院の山門を形どって建立されたもの。延宝年間(1673-1680)に火災に遭い、現在の山門は18世紀後半、寿念寺第16世到普の時に再建された定紋付きの門で、昭和8年(1933)の山門の修繕時に棟札が発見されている。
発動機はドイツ・シーメンス会社製交流発電機620キロワット、500RPM(RPMは1分間の回転単位)、電圧1万1000ボルト。荒瀬茶屋車変電所には3万3000ボルトに増圧して送電し、一般家庭には100ボルトで配電した。(阿仁町史編纂委員会1992、阿仁町教育委員会1993)
江戸時代、飢饉対策の一つとして備米制度を普及させるため、鷹巣村の肝煎が村民強化を図る目的で使用した掛軸2幅。作者は大館、花岡の藤盛江岸(1802-1870)と伝えられ、当時の社会教育教材の一つとされる。(鷹巣町教育委員会1997)
作者不詳。裏書によれば文化15年(1818)2月、当時の念仏講中が寄付したことになる、富有な農民が寄付したと考えられる(「本城と浄福寺」編纂委員会1982)。戦後、表装替えを行っている。
江戸後期、公卿であり、都の三歌人の一人といわれていた外山中納言光実筆跡。木戸石樹温寺十七世長俊栄師が京に在った頃、親交があった光実卿からの手紙の和歌の部分だけを条幅に表具したもの。当時の京と当地域との関わりを知る上で重要な資料であり、当時の公家と僧侶の交流を知る上でひとつの手掛かりともなる。
文化年間(1804-1817)、阿仁地域を巡歴した菅江真澄が、川井村の神官斎藤治継に贈った「祝の書」である。この頃阿仁郡を旅する基点としてこの斎藤家に滞在した際の揮毫である。
寛政8年(1796)、綴子村の修験者・般若院英泉(1714-1782)と龍峰子弟により刊行された、『仏母大孔雀明王経校訂本』を記念して建立したもの。
延宝7年(1679)、蟹沢山北方山麓一帯は「水の目林」(水源涵養林)として禁伐の指定を受けており、その時に藩より交付されたのがこの制札。 なお、この制札は再交付されたものである可能性もあるが、鷹巣の山林資料として貴重なものである。
七日市地区奥見内沢の青木などすべてを御法度とするために出された制札。 正徳3年(1713)、佐竹藩では第1期林政改革を樹立して山林保護政策に乗り出した。享保7年(1712)7月、藩の命令で、小猿部の内奥見内沢を留山に設定。
鷹巣村肝煎・成田兵左衛門の直筆。編年様式で当時の農事記録として貴重なものである。藩政初期の元和年間(1615-1628)から約230年間の作柄、天候等が記されている。特に凶作年の気象や被害状況、米価、諸物価の変動、鷹巣市場の盛況、世相等にも触れていて今日でもわかりやすく興味深い資料である。
鷹巣村肝煎斎藤田代兵部の直筆。正徳3年(1713)8月16日の検地役人の来村(8月16日に麻生村より戸崎藤兵衛、館岡武兵衛、金宇平治の3人が、8月19日に太田新田村から石井徳右衛門が)から、約1ヶ月にわたる村の打直検地の経過や様子、検地の際の各家の持高が記されている。
天保8年(1837)、長谷川伊右衛門(長谷川家8代目)の編者になる手稿本。天保飢饉に関する災害記録で、天保4年(1833)元旦の天変から近郷の飢饉見聞実例、南部津軽の流民飢饉、大塩の乱のことなどが記されている(鷹巣町教育委員会1997)。この見聞実録には文書だけでなく、挿絵もついている。
金兎月(1794-1871)作。湯ノ岱(森吉)産の木葉石を用いて作ったメタセコイア紋様、長方形の木葉石硯。この作品は天保年間(1830-1843)から幕末にかけて作られたもので、所蔵する金家に残る10数点の中では最も良い出来とされる。
なまこ釉大瓶。明治末期から大正初期にかけての作品。米内沢八橋焼は、大倉東五郎(?-1885)が明治初年秋田市八橋の大久保窯から職人を招いてつくった。(秋田魁新報社1974)窯場は米内沢宇ツコ沢の一角にあり、日用雑貨や置物を焼いていた。最盛期には18基の登窯があったと云われている。
森吉・小滝神社に保管されていたものを、森吉山ダム建設による移転で寄付を受けた物。小滝集落で、虫追い行事の際の害虫を追いやるうとするまじないを唱える時に使用された罌口(新林佐助氏からの聞き取り調査)。 「寛文九(1669)曆己酉 四月吉日」の記名あり。
御廻野家18代亮三(1896-1960)の作。鎌沢榊細工の技法をもっともよくつたえらばこの胴乱で、大正後半か昭和初期の作とされる。御廻野家が現存する胴乱のうち最も古い作品ではないかとされ、この胴乱は毎年角館の榊細工展において展示され、秋田県の榊細工の元祖の作品として紹介されている。
御廻野家19代忠氏(1911-1998)の遺品。 榊細工の産地としては角館が有名だが、大館でも作られていた。この2つの地域に榊細工の技法を伝えたのが、鎌沢の御廻野家であるという説がある。

市指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
菊花双雀文様鏡	有形文化財	工芸	1面	H9.5.1	合川
仏像	有形文化財	工芸	6体	H5.5.14	森吉
比立内神社の罌口	有形文化財	工芸	1口	H4.3.31	阿仁
鉦鼓	有形文化財	工芸	1個	H1.10.1	鷹巣
罌口	有形文化財	工芸	1個	H1.10.1	鷹巣
石造延命地藏菩薩立像	有形文化財	彫刻	1躯	S53.2.1	鷹巣
綴子宝勝寺の「延命地藏菩薩」	有形文化財	彫刻	1躯	H1.10.1	鷹巣
長畑地藏尊	史跡	遺跡		H4.3.31	阿仁
青銅製大仏様	有形文化財	彫刻	1躯	H4.3.31	阿仁
丈六延命地藏菩薩坐像	有形文化財	彫刻	1躯	H4.5.25	合川
板碑「延慶の碑」	有形文化財	歴史資料	1基	H4.5.25	合川
宝篋印塔	有形文化財	歴史資料	4基	H4.5.25	合川
摩当沢遺跡出土品	有形文化財	歴史資料	11点	H4.5.25	合川
藤株遺跡と遺物	有形文化財	歴史資料	一括	H2.4.1	鷹巣
当田流棒術	無形民俗文化財	民俗芸能		S59.3.21	森吉
獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		S59.3.21	森吉
餅搦き踊り	無形民俗文化財	民俗芸能		S59.3.21	森吉
万灯火	無形民俗文化財	風俗慣習		S59.3.21	森吉
ヤマヤマ	無形民俗文化財	風俗慣習		S59.3.21	森吉

概要
川井(合川)の神職・斎藤家により所蔵されてきた和鏡。 鎌倉中期の作品で、菊の花が咲き乱れる川辺に2羽の雀が戯れている優雅な図柄。細かい工人の技ややや荒い彫の鎌倉期の特徴が表現され、気品さと重厚さを感じさせる。美術品であると同時に貴重な歴史資料である。
明治の廃仏毀釈の際、五味堀集落の御伊勢堂が菩薩堂に移され、菩薩像が追い出されたとされる。菩薩堂別当三光院の所持してあった書物によると、虚空蔵菩薩・普賢菩薩・文殊菩薩の3体は天正16年(1588)に集落を訪れた僧侶が作製したとあるが、その3体が文化財指定を受けている3体であるかは不明。 向かって左から、多聞天(毘沙門)・虚空蔵菩薩・普賢菩薩・文殊菩薩・観音菩薩・地藏菩薩。(右端に7体目の仏像があるが、平成3年に新たに作られたもの)
享保16年(1731)、念心が寄進したものである。 青銅で作られており、「享保16年辛亥8月17日奉懸(享保17年?) 羽州秋田大阿仁郡(銀山)善導寺末 良生上人 比立内村(邑)願主念心」と記載されている。
出羽大塚宗味の作で、浄心寺(一向宗)の什物。 俗に「カネコ」と呼ばれるものよりは、一回り大きく重厚な作品とされる。裏に「出羽比内房沢村浄心寺什物 延宝八年(1680)庚申二月一五日天下一出羽大塚宗味作」と刻字されている。
高木資晴作。元禄7年(1694)4月吉日、大堤三澤彦右衛門奉納。 この罌口は家運繁盛と子孫繁盛のため奉納したものと推察される。
元禄時代の作成とされ、豪農佐藤七郎兵衛により寄進。石材は花崗岩(サクラミカゲ)で、小豆島産ともいわれている。声聞形で右手に錫杖、左手には宝珠を持っている。能代と大坂を結ぶ日本海廻りの船底を安定させるための荷の積荷として移入された石仏類のひとつとされ、昭和48年地藏堂を建てて安置された。
綴子宝勝寺の本尊、木像金箔押「延命地藏菩薩」等身大の坐像。宝永2年(1705)に、施主今泉村佐藤七郎兵衛が京都から買い求めて寄進したもので、京都大仏師法橋立兼作。このような肩書のある仏師の作品は近郷寺院には珍しい最大・最古のものとして(鷹巣町教育委員会1997、秩父1983)。
念心の作。享保9年(1724)自ら志洲内川から石を運び彫造して、長畑に3体の地藏を建立した。それぞれの地藏は一里塚で、通行の安全を祈願した。
阿弥陀如来坐像。向山銀山の大山師・青山清左衛門が一族の供養のために寄進したもので、京都三条の釜座鑄師・和田信濃大塚藤原国次により作成された。台座には87名の戒名が刻まれている。青山清左衛門は近江国(滋賀県)の商人で承応元年(1651)向山銀山で山師として功績があった人物。
延享2年(1745)、京都の大仏師・蔵之丞了慶の作とされる木像半跏地藏尊像。了慶が玉顔部を京都で造り、鉢部を当院第7世悟山忍州和尚が村人からの浄財と寺領田の処分による益金で造り完成した。
鎌倉末期、建立された。鎌倉空町時代を通して武士の間に流行した浄土教の死者の霊を供養するためのものである。八幡岳と川井の中間の泉付近の台地斜面に転倒していたのを、川井部落では古碑の保護と松石殿の供養をかねて居村の墓地に安置したものである。県内では3番目に古い。
もとは5基あったとされるが、現在4基である。研究者磯村朝次郎氏によれば、室町中期の作とのこと。現在の同塔分布と石室からみて男鹿・房住山を経て信仰とともに伝播されたことが推測されるが、その経路は明らかでない。 石材は総て男鹿の安山岩で出来ている。
合川町摩当沢集落西端の舌状地、通称「ラント台」からの出土品9点で、縄文後期から晩期にかけてのものである。亀ヶ岡形式の遮光器土偶をはじめとし、朱塗りの鉢状土器、人面付土器・注口土器・石剣等多数が発見されている。
藤株遺跡からは縄文時代前期から晩期までの遺物が発見されている。
指南は北秋田郡上川沿村古館花部落(大館市上川沿?)伊勢幸助という人である。棒の図解をした絵巻物は、米内沢町本城の若勢団体にありとされる。
参勤交代を模した行列に始まり、獅子、駒、奴、棒の4種からなる。かつて若勢会員だけの「男踊り」であったことは、同会の紋章「笹りんどろ」が身につける装束に残されていることからもうかがえる。
毎年旧暦7月15日(現在は8月15日)の送り盆の前夜に、米内沢新町地区の講中によって熊野神社の境内で行われていた。直径3尺の臼を道路の真ん中に据えて餅をつき、臼の回りを滑らかな身振りをしながら踊るもので、「一人めらし踊り」とも云われる。
もとは精霊祭と云われるが、燃えかたを他の集落と競う等豊作祈願的要素もある。燃え方が良ければ豊作になると言う。岩手集落の万灯火は他の集落の万灯火が松火を振り回すのに対してここではドンドコ焼きとの交雑が見られる。又競い合う集落がないため男女別に分かれ競争する。集落独特の唄が唄われている。
米内沢本郷に伝わる習俗で、夜になると小中学生が集まり、学業成就・高校合格等を祈願し、笛・太鼓とともに、境内に飾ってある高さ2丈5尺の灯籠を先頭に町内を練り歩く。山車の灯籠は、4段の絵灯籠の上に、さらに菅原神社と書いた宮形灯籠をとりつけてあるのでヤマヤマの名になったといわれている。

市指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
福田獅子舞	無形民俗文化財	民俗芸能		H5.10.28	合川
上杉大名行列	無形民俗文化財	民俗芸能		H10.5.21	合川
川井駒踊り・奴踊り	無形民俗文化財	民俗芸能		H10.5.21	合川
李岱駒踊	無形民俗文化財	民俗芸能		H10.5.21	合川
荒瀬獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
萱草獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
笑内獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
幸屋渡番楽	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
比立内獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
阿仁からめ節	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
幸屋獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		H7.3.6	阿仁
明治天皇鷹楽行在所跡	史跡	遺跡		S53.2.1	鷹楽
首切り塚と五義民地蔵	史跡	遺跡		S53.2.1	鷹楽
獅子肝煎屋敷本陣跡	史跡	遺跡		S53.2.1	鷹楽
胡桃館遺跡	史跡	遺跡		S53.2.1	鷹楽
羽州街道	史跡	遺跡		H1.10.1	鷹楽
明利又城跡と浅利氏墓碑群	史跡	遺跡		H1.10.1	鷹楽
青山家の墓石	史跡	墳墓		H4.3.31	阿仁
高岡八右衛門の墓	史跡	墳墓	1基	H4.3.31	阿仁

概要
米代川流域にもたらされた奉納神楽を文化年間に修業伝授したのが始まりとされている。演舞は大獅子と獅子を誘導するさら役で構成されている。この舞は、地中に潜む悪霊を追い払って昇天するという舞で、毎年村の鎮守稻荷神社祭礼時その舞を奉納している。
北秋田市合川地区の上杉集落で、3年に1度9月15、16日の奉納神事として催される郷土芸能で、長い伝統を誇っている。豊年祈願・家内安全・先祖供養の行事。
敬虔な農業への祈りが主な「農業祈願」の踊りである。由来は、凡そ300年前の元禄に遡るとも云われているが明らかではない。口伝によると、江戸時代初期に佐竹義宣が秋田へ転封となった時、失意の旅情を慰め士気を鼓舞するために、同行の武士連が演じたものと云われ、やがて能代港町道地藤原家から米代川沿岸の村々へ伝授された。
江戸初期に道地村（能代市）で演じられた「道地さらさら」を原型としている。李岱の有志がかつて道地村を訪れ指導を受けたのが300年前と言われている。長い間、各家の長男のみが演じることを許されていた。しかし、村人口の減少に伴い、一時中断を余儀なくされていたが、戦後有志の情熱により復活したと記されている。
荒瀬獅子踊りは古く、藩政時代に始まったと云われている。秋田の殿様の参勤交代の道中に踊ったものであると伝えられている。祖先の霊を祀り、五穀豊穡を願い、そして地域の親善融和と娯楽慰安の行事として継承されてきたものと思われる。
萱草獅子踊りの起源は、藩政時代からだと云われている。天保4年（1833）の大飢饉以来久しく廃されていたのを、節匠を森吉町浦田から頼み、明治25年（1872）頃に再興した。万才も師匠を秋田市の下千町から頼み、内容も充実し、お盆には他部落へ踊りに行き、萱草獅子踊りは上手だと好評を博した。
室町時代に始まり、祖先の慰霊と娯楽を兼ねて行われてきたと伝えられているが、幕末の頃から大名行列（棒、奴子）を加えた総合芸能となった。
演目は、武士舞・鳥舞・翁舞・三番叟・根子切斧・鐘巻・山神・山伏・定久郎・西了坊など20種目になる。
比立内獅子踊りは、明治16年（1883）頃、小又生まれの松橋東助から浦田の駒踊りを伝習したのが始まりと言われ、その後明治23年（1890）頃、桂瀬から製炭夫として働きに来ていた人から伝授されたり、戸沢さらさらなどを参考に、今日の比立内獅子踊りが出来たのである。
阿仁鉦山で働く女性たちの労働歌である。坑道口前に掘り出された鉦（鉦石）を金槌で叩いて細かくし撰鉦する「鉦つぶし」が「からめ」といわれ、辛い労働の疲れを癒すための槌を振る拍子に合わせて唄う女工たちの作業唄として、踊りと共に伝承されてきた。
昭和30年代までは部落内に多数の若勢団がいて継承されていたが、二男、三男が相次いで町外へ転出したことから中断していた。しかし、部分的にでも継承していこうという気運が生まれ、現在は扇奴と棒使いを復活させ、伝承している
明治14年（1881）9月12日、明治天皇が東北巡行の際に鷹楽村土族成田直衛宅を昼食所にあてたことを記念して建立された碑。
享保9年（1724）、水害と飢饉の続いた村人は、村入り用額（今日の村税）をめぐって肝煎との抗争があった。窮民を代表して五人は禁を犯して直訴を企てたが破れて獄中の人となり、桜岱にて処刑された。村人は5人の霊を供養するため、永安寺境内に五義民供養地蔵を建立した。
慶長8年（1603）から代々肝煎役を務め、慶安2年（1649）には親郷肝煎となり鷹楽・太田・長坂・早口・岩瀬の各村を支配した。又、獅子宿場駅の伝馬取締り、更に藩主佐竹公の旅行入湯や、津軽公の参勤交代、江戸幕府の巡見使等の「本陣」にも指定され、羽州街道の要衝として繁栄した。
今から約1,000年前に米代川流域で起こった、十和田火山の噴火によって発生したシラス洪水が原因で埋まったものである。遺跡は平安中期の古代屋敷で官衙的性格のうかがえるもので、主殿の校倉造りの平安朝家屋の遺構をそのまま出土していることは全国的に珍しいものだという。
羽州街道は、慶長8年（1603）徳川幕府2代将軍秀忠の時に、幕府の命令により藩主が沿道の地域住民を総動員して作らせたもの。この地域では米内沢城主赤坂朝光が指揮監督して工事がすすめられたものと推察されているが、長い年月の間殆ど姿を消してしまっていたが、藩政時代を偲ぶ多くの名所旧跡がある。
浅利氏の古城跡である。山頂部の屋敷跡と称される処は長方形の平坦部になっていて、攻守により付近の山々の頂や、尾根などを見張り所や番屋等に利用したものである。また、当地域の地頭領主であった浅利氏一族の墓碑といわれている古碑群7基が、集落北方の道路沿いに並んでいる。
瀬戸内海原産の御影石で、善導寺境内にある。青山清左衛門は近江国（滋賀県）の商人で、向山銀山にて稼業し、大山師として鉦山の請負、企業者として活躍し、功績を残している。青山家は代々鉦業の請負主として巨万の富を築き、銀山神明社の宝鏡や、善導寺の梵鐘を寄進し、向山不動尊建立など、寺や神社に数々の寄進をした。
この墓は、小沢銅山（阿仁銅山の中心地）の発見者である高岡八右衛門の7周忌に、関係者によって建てられたものである。

市指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
銀山神明社石灯籠	史跡	遺跡	2基	H4.3.31	阿仁
風張城跡	史跡	遺跡		H4.3.31	阿仁
山寺石灯籠	史跡	遺跡	2基	H4.3.31	阿仁
大阪屋彦兵衛の墓石	史跡	遺跡	1基	H4.3.31	阿仁
御狩屋跡	史跡	遺跡		S59.3.21	森吉
親杉	天然記念物	植物	1本	S59.3.21	森吉
ツキ	天然記念物	植物	1本	S59.3.21	森吉
相善杉	天然記念物	植物	1本	S53.2.1	鷹巣
親方樅と根曲り桜	天然記念物	植物	各1本	S62.2.1	鷹巣
千年桂	天然記念物	植物	1本	S53.2.1	鷹巣
大樺	天然記念物	植物	2本	S53.2.1	鷹巣
マイツルテンナンショウ	天然記念物	植物		H7.2.1	鷹巣
佐竹公御手植の松	天然記念物	植物	1本	H4.3.31	阿仁
笑内神社の銀杏	天然記念物	植物	1本	H4.3.31	阿仁
松栄桜並木	名勝	並木		H8.2.29	森吉

県指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
阿弥陀如来坐像	有形文化財	彫刻	1躯	S49.10.12	鷹巣
魚形文刻石	有形文化財	考古資料	1個	S30.1.24	阿仁
白坂遺跡出土品	有形文化財	考古資料	318点	H13.3.16	森吉

概要
阿仁に御影石が入ったのは寛文元年（1661）頃と云われており、これらの石燈籠は大阪で彫造されて運ばれた。阿仁から大阪へ金銀銅が北前船で運ばれた際、この戻りの船のバランスを取る目的で御影石を積んできたのが当町に運ばれた。
大永年間に松橋孫三郎季盛によって築城から始められ、天文元年（1532）に完成した。天正年間に、秋田実季が角館城主戸沢盛安を攻めたとき、仙北の境を押ししたが、この地は要所であった。また、このころこの地は津軽勢が秋田へ入るうとして風張まで攻めて来ており、この風張城は重要な要塞であった事がわかる。
石燈籠は、金銀銅を運び北前船が船のバランスをとるため、瀬戸内海原産の御影石を運んだものであり、「元禄九（1696）丙子歳 七月十七日 高橋信之寄進」とある。
真木、板木沢と三枚両銅山の山師大阪屋彦兵衛の墓で、旧阿仁町銀山の専念寺境内に3基ある。
秋田藩主佐竹公が阿仁鉱山巡査の帰途当地を通った際、休憩をとった由緒ある地である。
本城神社の御神木として大切にされてきた、樹齢400年（伝500年）を超えるスギの巨木。また、かつて山崩れがあり、根元が5mほど埋没したといわれている。
根や幹の部分にイボ状の突起があることから「いぼの木さま」と呼ばれる。体にイボが出た時、小さな仮に粉殻を詰め、この木に奉納すると効験があるといわれ、昔からイボ取りの木として信仰の対象となってきた（秋田教育委員会2004）。
大畑黒石神社（相善様）の神木で牛馬の守護神として信仰されている。大畑集落は糖沢村でも最も古い切り開きの地であり、相善杉はその北に位置する。根元に黒石神社のお堂がある。昔は、相善様の祭日5月5日に、村人が、大事な働き手だった馬を清めに馬と共に参りしていたと云われている。
北秋田市綴子の旧家で親方、高橋八郎兵衛家の旧庭園に門柱代わりに植えられた樅と桜で、樹齢は桜、樅ともに約400年とされる。
八幡宮綴子神社の御神木で、神社境内の中央、社前の左側にある。綴子の歴史と信仰教化の伝統を象徴するもので、樹下に大柱神社を祀り縁結び子宝安産の守護神とされている。
鷹巣神社鳥居の両側に立つケヤキ2本。鷹巣村の誕生とともに住民を見守り続けてきた神木として保護されており、どちらも根元から地上に這い上がり、逞しい生命力を発揮している。
鷹巣町に成育することは、1960年の発見によって知られるところとなったが、その後、成育地や現況が不明となり1989年日本自然保護協会によって絶滅危急種と指定され、秋田（鷹巣町）絶滅と報告された。1991年の再発見により、絶滅から一転して「本邦最大規模の群生地」と評され町の文化財に指定となる。
秋田藩の寛政改革を行った名君、第9代秋田藩主佐竹義和公が阿仁鉱山を巡視した。その際、地元で休憩所を設け闘牛を催し、その記念として3本の松を植えられた。現在は、そのうちの1本のみが現存している。
幹と枝に1mを超える巨大な乳房状の瘤が垂れ下がるのが特徴で、笑内神社の神木として祀られている。集落の人々に大切に守られてきた神木で、神社正面左手に神社を守るように立っている。
昭和12年集団開墾事業として92戸が入植。当時は松の巨木が立ち並んでいたが、戦時中に軍用材として伐採された。昭和27年入植者2世の若者たちが青年会を組織し、ソメイヨシノの苗木を植栽。その後8年間にわたり177本もの苗木を植栽した。指定されている桜は93本である。

概要
江戸初期、円空がスギ材で作った一木造りの仏像である。昭和46年（1971）に、「寺コ」と呼ばれていた真言の庵寺・宝珠庵に安置されていた5体の仏像のうちの一つから阿弥陀如来坐像は発見された。
通称・さげ石と呼ばれ、長さ13cmから32cmまでの魚の文様が1本の線で刻まれており、魚形は表面に6尾、裏面に2尾彫られている。エラは直線で表現され、口の表現がないことが特徴とされる。
出土した遺物の中に、使い方や使い道がはっきりした土器や石器の他に、儀礼や呪術・信仰に用いられたと考えられる特殊な石器・石製品、土器・土製品318点がある。他の遺跡に類例のない遺物や様々な形態の岩偶、岩版、線刻類、土偶、ミニチュア模様のような小型土器など種類・量とも豊富である。この318点の中で、「笑う岩偶」と名付けられたユーモラスな岩偶が注目されたが、他にも注ぎ口が2つある双口注口土器や顔が描かれた人面付環状注口土器などがある（秋田県教育委員2004）。

県指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
阿仁前田獅子踊	無形民俗文化財	民俗芸能		S39.11.17	森吉
猿倉人形芝居一座	無形民俗文化財	民俗芸能		S49.10.12	合川
内館文庫跡	史跡	遺跡		S35.3.1	鷹巣
大堤一里塚	史跡	遺跡		S62.3.17	鷹巣
小又峡	名勝・天然記念物	峡谷・地質		S39.4.16	森吉
伊勢堂岱遺跡出土板状土偶	有形文化財	考古資料	1点	H23.3.22	鷹巣
高森岱遺跡出土土偶	有形文化財	考古資料	1点	H23.3.22	鷹巣

国指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
桃洞・佐渡のスギ原生林	天然記念物	植物		S50.2.13	森吉・阿仁
旧阿仁鉱山外国人官舎（異人館）	重要文化財	建造物	1棟	H23.19	阿仁
「絹本着色松に唐鳥図」佐竹曙山筆	重要文化財	絵画	1幅	H15.5.29	森吉
伊勢堂岱遺跡	史跡	遺跡		H13.1.29	鷹巣

概要
阿仁前田の獅子踊は、慶長7年（1602）に佐竹義宣公が水戸から秋田へ国替えを命ぜられた時、道中の主君を慰め、家臣の志気を鼓舞するために演じられたのが始まりとされている。参勤交代の行列を真似たもので、格式が高いとされる。演目は行列、獅子、駒、奴、棒使い、万才、神楽があった。
猿倉人形芝居は、日本の代表的な人形芝居「文楽」の成立以前に行われた素朴な人形劇の形態を持っている。文楽が舞台の上の3人の使い手により1つの人形を操るのに対し、猿倉は舞台の陰の1人の使い手が1つないし2つ、時にはそれ以上の人形を動かす。それは非常にひなびており、日本の人形芝居の系譜を知るうえで貴重な文化財である。
内館文庫はこの地方における古くからの庶民教育施設であり、この地域の教育の中心的な役割を果たしてきた文化的に大変価値のある史跡である。この文庫には江戸時代の鷹巣の頃（1648-1652年）に神職であった武内氏の内館塾に関する書籍や塾用器物が残されている（秋田県教育委員会2004、鷹巣町教育委員会1999）。
綴子小学校裏を通る町道脇にある。慶長9年（1604）に幕府の命で作られ、羽州街道の一里塚としては南の藩境から数えて54番目にあたるものである。大きさは直径約6m、高さ約1.8mある。街道沿や塚の周辺には杉林や雑木林が生い茂り、当時の面影を感じることが出来る（秋田県教育委員会2004）。
小又峡は、小又川の支流、太平洋に注ぐ支流に発達した渓谷。千畳敷のような岩盤、狭く深い渓流なども見られ、遊歩道の最後の地点に現れる三階の滝は、3段になって水が流れ落ちる趣きある名瀑として名高い。
伊勢堂岱遺跡の板状土偶は、同時期の東北北部で隆盛した土偶と同形態で、手足を省略した逆三角形の板状の体部に突き出た頭部が特徴的な土偶である。本資料は、縄文時代の服飾および習俗、伊勢堂岱いせきの環状列石に伴う葬祭儀礼を考える上で欠くことのできない貴重な資料である。
縄文時代晩期の大型遮光器土偶で、全身に描かれた渦巻き状の文様や、肩と腰が張り出し、手足が小さく抽象化されている点など、晩期前半の特徴を示している。本土偶は、昭和56年（1981）に個人により発見、収集された。

概要
秋田県内の天然スギは、ブナ帯の下部から中部の標高200～600m付近に分布し、シナノキ、イタヤカエデ、ミズナラなどの広葉樹と混生するのが通例である。ところが森吉山（標高1,454m）の南東稜線の森吉山桃洞沢と阿仁町打当沢のスギ林は、ブナ帯の上部の標高850～950mの地帯に原生状態で群生している。また、山地帯上部では本来ならばブナ帯の稜線に出現するネズコやキタゴヨウが、スギとともに山腹に面的な広がりで見られ、それらの群生がそろって原生状態で保たれているのは他に例がない。これは天然スギの垂直分布の上で極めて珍しい事例である。スギ原生林は南北2団地に分かれていて、北側の桃洞沢流域と中の又沢流域に分布するスギを「桃洞スギ」といい、南側打当沢流域の「佐渡の谷地」という湿地にあるものを「佐渡スギ」と呼んでいる。このように2団地の原生林が地域的にまとまっているが、桃洞スギにはネズコを欠くなど独自の生態系を持つもので、各群落の特質や生育環境を比較できるし、またスギ林の成立過程や要因の解析など、山地帯上部に発達した特異な森林生態系として多くの研究対象を含み、学術的な価値はきわめて高い。
明治15年（1882）、明治政府（工部省）により阿仁鉱山に派遣されたドイツ人技師アドルフ・メッケルら外国人技術者のための宿舎として建てられたもの。現存する建物は、当時建てられた2棟の官舎のうち1棟であり、もう1棟は昭和28年（1953）に焼失している。設計はメッケルとされるが、メッケルはこの建物の完成を見ることなく明治15年の5月に鉱山を離れている。外国人技師として最後に派遣されたクラークスとワイヤーも明治16年（1883）5月に離山している。この宿舎が外国人技師に使用されたのは約半年間という短い期間だったようだ。東北地方では古い煉瓦造建築であり、煉瓦造の住宅としては全国的に見ても古く、秋田県における最初の洋風建築であるとされる。明治初期の殖産興業時代の工部省の広範囲な活動を示すものとして重要な建物であり、また、阿仁鉱山における産業の近代化の一環を担った施設のひとつとしても注目できる。
佐竹曙山（寛延元年～天明5/1748-1785）は安永2年（1773）から洋画法を学んできたが、それ以前から狩野派の筆法で老松を好んで描いていた。曙山の洋風画にも老松を土台にして陰影法を取り入れ、写実的に描いた松を画材にした洋風画が多く、松に唐鳥図はその代表的な力作である。「画面に大きく広がる陰影法を用いた老松の樹幹は大胆で迫力があり、松の描写に対する曙山の自身に満ちた態度がうかがわれる。樹幹からのびる曲折した枝は極端な遠近法を用いて不自然であり、その枝に曙山写生帖の中にある赤い唐鳥（インコ）と同じ鳥が止まっただけで不思議な感じを与える。一方、樹幹背後に遥かに広がる遠近法を用いた銅版画風の遠景は、強い前景とは対照的に淡く、それがひとときを前景を浮き立たせている。和洋折衷の画法が奇抜な感じで合体した、妖しく美しい作品である。」と、武隈林太郎が評している（相川1982）。
伊勢堂岱遺跡は、標高40～50mの舌状台地上に位置します。環状列石を中心に、左くさんの祭り・祈りの施設が見つかっています。祭りに使われた道具なども数多く出土しており、縄文時代後前半（約4000年前）の大規模な祭祀の場と考えられています。縄文時代の精神文化や社会組織、土木工事の様子などを解明する上で重要な遺跡であることから、平成13年1月には国の史跡に指定されました。伊勢堂岱遺跡の大きな特徴は、大規模な環状列石がいくつも造られていることです。これほど近隣した範囲内に複数の環状列石が集中する遺跡は全国でも例がありません。

国指定文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
根子番楽	重要無形民俗文化財	民俗芸能		H16.2.6	阿仁
金家住宅	重要文化財	建造物		H21.12.2	森吉
秋田県胡桃館遺跡出土品	重要文化財	考古資料	441点	H21.7.10	鷹巣
阿仁マタギの狩猟用具	有形民俗文化財	衣装・用具等	293点	H25.3.12	阿仁

国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

名称	区分	種別	員数	指定日	地区
根子番楽	無形の民俗文化財	民俗芸能		S47.8.5	阿仁
根子の大太鼓	無形の民俗文化財	民俗芸能		S54.12.7	鷹巣
猿倉人形芝居	無形の民俗文化財	民俗芸能		H8.11.28	合川
阿仁地方の万灯火	無形の民俗文化財	風俗慣習		H17.2.21	合川

概要
<p>「番楽」とは山伏神楽の一種で、かつて修験者たちによって行われた神楽のことだといわれている。根子番楽の特徴は、歌詞の内容が文学的に優れていることと、舞の形式が能楽の先駆を成す幸若舞以前のものであることが賞讃されているが、舞はテンポの速いリズムミカルな囃子にあわせて舞う勇壮活発な武士舞と、古雅で静かなリズムが特徴の古典的舞の2つに大別されている。</p> <p>根子集落に伝わる伝説では、源氏の遺臣あるいは平家の落人たちが根子の村に移り住んで番楽が行われるようになったとしている。慶応、明治、大正時代は頻りに近隣町村の依頼を受け出演して重宝がられた舞曲であると記されているが、昭和10年（1935）に東京で開催された「日本民俗芸能大会」に東北地方代表として出演して以来、各地に伝わる数多くの番楽の中にあつて、古式をよく現代に残している能楽のひとつであると関係各界から注目されてきた。</p>
<p>金家は阿仁地方の三大旦那と呼ばれた大地主である。</p> <p>森吉町本城に建つ当建築は金家9代目当主金逸朗によって大正14年（1925）頃より、昭和3年（1928）5月完成まで4年の歳月をかけて建設された。設計者は県の技師であった長岐禎三、大工棟梁は棟札によると秋田市の大工・小寺茂吉である。使用された木材は全て持ち山から伐り出し、屋敷付近で製材された。大正13年（1924）より工事準備が始められたようで、地盤は松抗打により耐震補強され、製材された木材は蒸材・乾燥させて用いられており、現在においても狂いはほとんどみられず、当時の技術の確かさを感じさせる。建築にあたっては大工、作業員など常時30人以上の人々が働き、資材の運搬や木材の乾燥等には地元の人々も多く携わったという。</p> <p>総じて非常に豊かな装飾を持つ優れた洋風建築であるが、床には畳が入り、建築当初から座式の生活スタイルをとり、椅子式とはならなかったようである。この時期の洋風建設の受容を考える上で甚だ興味深いものがある。なお、当住宅は渡り廊下で接続した和館が併設されている。県下においても洋館、和館が併設されて残されている建築は少なく非常に貴重である。</p>
<p>現在の十和田湖は約1000年前に噴火し、米代川を大量の土石流が流れ、流域の村々を飲み込んでしまった。よって、この遺跡も火山灰を含んだ土に埋もれたことで腐らずに残っているとされている。</p> <p>主要な出土品は4棟の古代家屋の遺構である。その中で、最も規模が大きく注目されたのは、校倉式の「主殿」である。屋根などはすでに流失して残っていないが、巨大な土台や、厚い横板などは完全な形で出土している。</p> <p>約30m離れた場所の2棟は、1つは同じく校倉式、他の1つは直接土中に柱、縦板をさした素朴な掘立て式である。この建物には、内部にカマド跡、ろ跡が見られることから、当時の日常住居跡であろうといわれている。</p> <p>このほか高床式の貯蔵庫、周辺をとりまく大きな円形の棚列、赤褐色をした土師器、灰白色の須恵器、さらには墨書土器 木札なども発見された。</p>
<p>阿仁マタギは、阿仁地域の根子、打当、比立内などの集落に居住し、狩猟を生業とした人々であり、シカリと呼ばれる統率者の指示のもと、集団で狩を行うことで知られ、クマやカモシカなどの大型獣やノウサギ、ムササビなどの小型獣などを獲物とする狩猟によって生計を立ててきた。狩猟範囲は居住地区周辺にとどまらず、岩手や山形、福島、新潟など広範囲に及び、また、獲物や薬草等を用いて薬を製造し、広く行商を行っていたことでも知られている。</p> <p>「阿仁マタギの狩猟用具」は、この阿仁マタギが狩猟に用いた衣装、携行品、武器などの道具類で、内訳は、大型獣、中・小型獣、鳥類ごとに猟に用いられた衣類・携行品・信仰・武器・農具249点、山小屋での生活用具20点、行商用具24点の計293点である。</p>

概要
<p>「番楽」とは山伏神楽の一種で、かつて修験者たちによって行われた神楽のことだといわれている。根子番楽の特徴は、歌詞の内容が文学的に優れていることと、舞の形式が能楽の先駆を成す幸若舞以前のものであることが賞讃されているが、舞はテンポの速いリズムミカルな囃子にあわせて舞う勇壮活発な武士舞と、古雅で静かなリズムが特徴の古典的舞の2つに大別されている。</p> <p>根子集落に伝わる伝説では、源氏の遺臣あるいは平家の落人たちが根子の村に移り住んで番楽が行われるようになったとしている。慶応、明治、大正時代は頻りに近隣町村の依頼を受け出演して重宝がられた舞曲であると記されているが、昭和10年（1935）に東京で開催された「日本民俗芸能大会」に東北地方代表として出演して以来、各地に伝わる数多くの番楽の中にあつて、古式をよく現代に残している能楽のひとつであると関係各界から注目されてきた。</p>
<p>今から約700年前に始まった、伝統行事「根子大太鼓祭り」は毎年7月14、15日に徳川、豊臣方にわかれた上町と下町の2つの集落が交代で根子神社に大太鼓を奉納し、虫追いや雨乞い、五穀豊穡を祈願する。</p> <p>起源は古く薄政以前の雨乞い行事から始まったと伝えられている（鷹巣町教育委員会1997）。耕地の広大なのに出して水源と水路の便が悪く、常に耕地の灌漑用水の不足に悩み、太鼓祭りの行事は雨乞い及び日上げの神事としてはじまったものと云われている。</p>
<p>猿倉人形芝居は、日本の代表的人形芝居「文楽」の成立以前に行われた素朴な人形劇の形態を持っている。文楽が舞台の上の3人の使い手により1つの人形を操るのに対し、猿倉は舞台の陰の1人の使い手が1つないし2つ、時にはそれ以上の人形を動かす。それは非常にひなびており、日本の人形芝居の系譜を知るうえで貴重な文化財である。</p>
<p>昔から万灯火は小阿仁川流域の行事で、今も春彼岸中日に山の尾根、川原、川岸、臺地に万灯火を点火して祖霊供養する。加えて盆の14日は帰省客を迎え、合川橋を中心に大規模な仕掛けの万灯火・車万灯火を行うようになった。</p> <p>元々、彼岸の行事だったが、子供たちに祖霊尊崇と郷土愛の心を育てようと、親が出稼ぎから帰省し、一家団圓の機会となるお盆に変えた。臺地や山の屋根づたい、あるいは川沿いにダンボという松明を灯して先祖の霊を弔う。</p>

12 国選記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財